

現代人の健康と食生活を支える大麦食品を開発・提案

●麦ごはんを毎日の食卓へ

豊橋糧食工業は、創業以来、麦ごはんの麦を製造加工してきた精麦会社です。「生活習慣病の予防やダイエットなどで食物繊維の効果がクローズアップされ、それに伴って食物繊維がたっぷり含まれている大麦が注目されています。それにお応えしようと毎日の食卓で簡単においしく召し上がっていただけ大麦製品をお届けしています」と専務取締役の伴野公彦さん。国産大麦にもこだわり、豊橋産大麦の栽培を復活させ、製品開発にも積極的に取り組んでいます。

伴野公彦さん▶



●手軽に食べられる大麦食品

大麦を、押麦、白麦、もち麦などに製造加工し、さまざまな健康食品を提供するなかで、手間をかけずに、そのまま食べられる大麦をつくろうと考え開発されたのが、国産大麦100%の大麦シリアル。一日当たりに必要な食物繊維の不足分を簡単に補えるようにと工夫されました。「大麦食品を通して、地域の人たちの健康的な食生活をサポートしたい」と伴野さん。そのためにも健康食品としての大麦の力をもっと伝えていきたいと話されました。

(花中センター 伊藤星乃)



▲豊橋産スーパーもち麦



▲もち麦ごはん



▲大麦シリアル

豊橋糧食工業株式会社 • 豊橋市入船町33番地 • 0532-45-2155 • <http://www.t-ryoshoku.co.jp>

編集後記

豊川市役所の方々は、若者を育てて次世代へつなげていこうという想いがあり、さまざまなイベントを計画しています。今、豊川市に欠けていることや足りないところをどうしていくべきか、市民の為にしっかりと考えている姿がありました。

豊橋糧食の伴野さんは、麦の良さをこれから世界へと広げていきたいとお話をされていました。その姿はキラキラとしていて、私たちもおもやいっこステーションを通してお手伝いをさせていただきたいと思いました。

東三河ヤクルト販売株式会社 豊橋市花中町54番地 TEL.0532-31-8960

【営業時間】月～金9:00～17:00、土9:00～16:00(日・祝日は定休) ※各センターが留守電の際は、東三河ヤクルト販売本社に転送され、ご用件を承ります。

- 花中センター
豊橋市花中町54番地 0532-32-0301
- 豊橋東センター
豊橋市西小鷹野4丁目8-12 0532-62-3374
- 弥生センター
豊橋市弥生町中原16-2 0532-46-5379
- 二川宿センター
豊橋市大岩町東郷内232 0532-41-2628
- 田原センター
田原市神戸字新大坪18 0531-23-1860
- 穂の國湊センター
豊橋市前芝町山内6 0532-34-6055
- 豊川みなみセンター
豊川市堺町2丁目27 0533-84-0744
- 稲荷センター
豊川市豊栄町7-1 0533-85-0816
- 新城センター
新城市片山538-9 0536-22-2611

